

テレメータ		
取扱説明書	専用回線 帯域品目	形式
	300 bps モデム	MOD2

## ご使用いただく前に

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認下さい。

### ■梱包内容を確認して下さい

- ・ モデム（本体+ソケット） ..... 1 台

### ■形式を確認して下さい

お手元の製品がご注文された形式かどうか、スペック表示で形式と仕様を確認して下さい。

### ■取扱説明書の記載内容について

本取扱説明書は本器の取扱い方法、外部結線および簡単な保守方法について記載したものです。

## ご注意事項

### ●供給電源

- ・ 許容電圧範囲、電源周波数、消費電力  
スペック表示で定格電圧をご確認下さい。  
交流電源：定格電圧 85 ~ 132 V AC の場合  
85 ~ 132 V AC、47 ~ 66 Hz、約 3 VA  
直流電源：定格電圧 24 V DC の場合  
24 V DC ± 10 %、約 3 W、約 125 mA

### ●取扱いについて

- ・ ソケットから本体部の取外または取付を行う場合は、危険防止のため必ず、電源および回線を遮断して下さい。

### ●設置について

- ・ 屋内でご使用下さい。
- ・ 塵埃、金属粉などの多いところでは、防塵設計のきょう体に収納し、放熱対策を施して下さい。
- ・ 振動、衝撃は故障の原因となることがあるため極力避けて下さい。
- ・ 周囲温度が -5 ~ +50°C を超えるような場所、周囲湿度が 30 ~ 90 % RH を超えるような場所や結露するような場所での使用は、寿命・動作に影響しますので避けて下さい。

### ●配線について

- ・ 配線は、ノイズ発生源（リレー駆動線、高周波ラインなど）の近くに設置しないで下さい。
- ・ ノイズが重畳している配線と共に結束したり、同一ダクト内に収納することは避けて下さい。

### ●その他

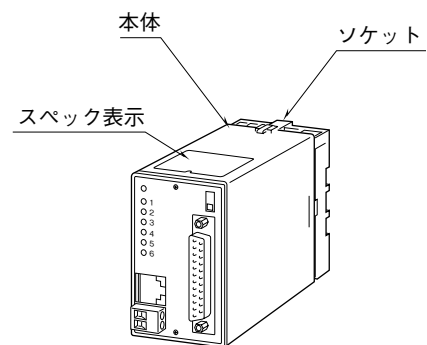
- ・ 本器は電源投入と同時に動作しますが、すべての性能を満足するには 10 分の通電が必要です。

### ●本器を使用する場合に、次の点を確認して下さい。

- ・ 本器に接続する機器  
本器は弊社製モデムインタフェース（DLS、SMDM、22LS1 など）との接続用に設計したものであり、他社製品との接続は行わないで下さい。  
本器は、変調方式により 300 bps 以外での通信はできません。このため、本器に接続する機器の伝送速度が 300 bps である必要があります。もし、300 bps を超える伝送速度の機器を接続しますと変調することができず、通信が正常に行えません。
- ・ 本器の設定  
本器は、全二重通信が可能なように送受信のキャリア周波数が異なります。これは前面パネルの“キャリア切換スイッチ”によりオリジネートモードとアンサーモードに設定することができます。このため本器を使用する場合には一方を“M”アンサーモードに設定し、他方を“S”オリジネートモードに設定して下さい。
- ・ 専用回線との接続  
本器に接続可能な専用回線は帯域品目 3.4 kHz ですので注意して下さい。また、専用回線への落雷による破損を防止するために必ずテレメータ用避雷器（形式：MDP-FT など）を接続して下さい。また、供給電源にも電源用避雷器（形式：MA-100 など）を接続することをお勧めします。

注) 専用回線との接続は、工事担任者またはその監督の下で行って下さい。

## 各部の名称



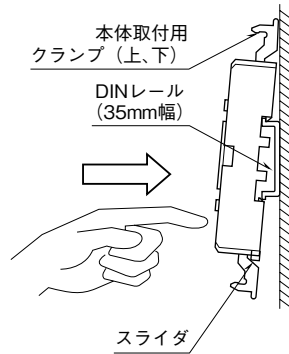
## 取付方法

ソケットの上下にある黄色いクランプを外すと、本体とソケットを分離できます。

### ■DIN レール取付の場合

ソケットはスライダのある方を下にして下さい。ソケット裏面上側フックをDINレールに掛け下側を押して下さい。

取外す場合はマイナスドライバーなどでスライダを下に押し下げその状態で下側から引いて下さい。

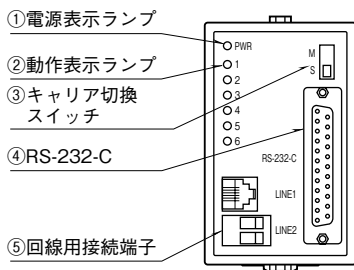


ソケットの形状は機種により多少異なることがあります。

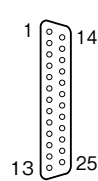
### ■壁取付の場合

外形寸法図を参考に行ってください。

## 前面パネル図



### ■RS-232-Cインターフェース



略号	ピン番号	機能	説明
FG	1		(未接続)
SD	2	送信データ	本器から送られるデータ信号
RD	3	受信データ	本器に送られるデータ
RS	4	送信要求	送信要求の信号
CS	5	送信可	本器へのデータ送信許可
DR	6	データセットレディ	送受信可能信号
SG	7	信号用アース	信号用アース
CD	8	キャリア検出	キャリア受信中信号
ER	20	端末装置レディ	本器の送受信可能信号

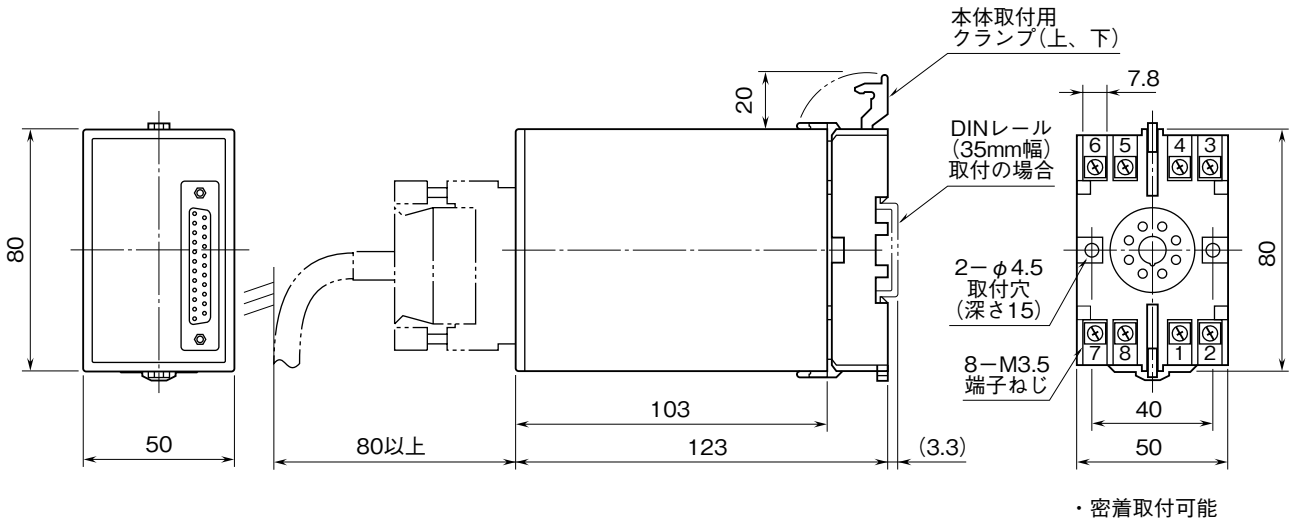
- キャリア切換スイッチ  
 M : アンサーモード  
 S : オリジネートモード

- 動作表示ランプ  
 1 : 受信データ (RD) 表示  
 2 : 送信データ (SD) 表示  
 3 : キャリア検出 (CD) 表示  
 4 : 送信要求 (RS) 表示  
 5 : 端末装置レディ (ER) 表示  
 6 : 未使用

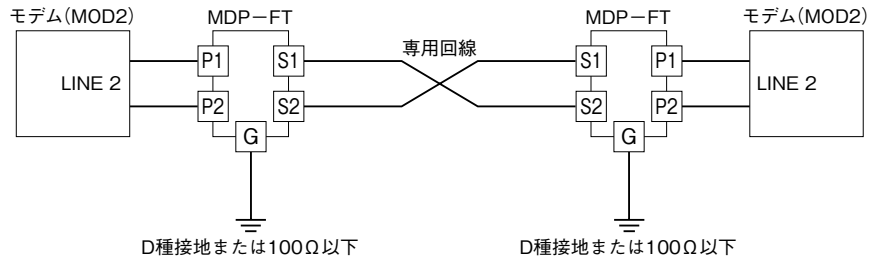
## 接 続

各端子の接続は端子接続図を参考にして行って下さい。

### 外形寸法図 (単位: mm)

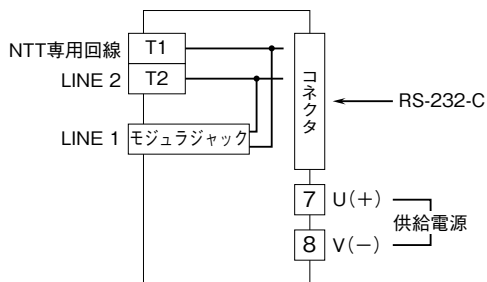


### 結線要領図



専用回線(帯域品目 3.4kHz)には極性がないので、専用回線(L1、L2)をモデム(MOD2)の端子台(LINE2)のT1、T2のどちらに接続しても問題はありません。

### 端子接続図



## 配 線

#### ■端子ねじ

締付トルク: 0.8 N・m

#### ■コネクタ形ユーロ端子台 (回線)

適用電線: 0.2 ~ 2.5 mm<sup>2</sup>

剥離長: 7 mm

## 雷対策

雷による誘導サージ対策のため弊社では、電子機器専用避雷器<エム・レスタシリーズ>をご用意致しております。併せてご利用下さい。

## 保 証

本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、または輸送中の事故、出荷後3年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返送いただければ交換品を発送します。